

# みんなの丸亀

編集・発行／丸亀市コミュニティ協議会連合会・丸亀市連合自治会  
丸亀市大手町二丁目3番1号 TEL.0877-24-8809

第1号 令和2年10月

地域社会の安定と活性化に欠かせない自治会やコミュニティ組織のさらなる活動強化に向け、各地区の「コミュニティ会長、連合自治会長」が一致団結して取り組んでまいりる所存でございます。

関係団体の皆様そして地域の皆様には、今後とも私たちの活動により一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。



いよいよさつ

丸亀市コミュニティ協議会連合会  
丸亀市連合自治会  
会長 岩崎 正朔

丸亀市コミュニティ協議会連合会並びに丸亀市連合自治会の広報誌「みんなの丸亀」初号発行にあたり、御挨拶申し上げます。

何事の活動にも情報発信が伴う、大きなうねりとなって伝わり、その活動の効果が大きくになります。その意味においても、これから発行される広報誌に大いに期待できると思っており、関係者の皆様のご熱意により素晴らしい内容を提供できるよう、私も関係者の一員として頑張っております。

さて、私たちが担っていますこの組織団体は、丸亀市の地域活動の基幹組織であると自負しているところです。私たちの暮らす地域社会には多くの組織・団体が活動しておりますが、その土台となるのが自治会組織であります。その自治会組織の減少が、交通事故の増加、青少年の非行、児童虐待などの様々な地域社会の問題に繋がるのではないかと考えております。



「みんなの丸亀」創刊によせて

丸亀市長 堀 正治

「コミュニティ協議会連合会・連合自治会の会報の創刊、おめでとうございます。だれもが安心して暮らせるまちづくりに向け、「コミュニティや自治会で地域のために御尽力いただいている皆様に敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。」

「コミュニティ協議会連合会・連合自治会」は、小学校区を単位としたまちづくり活動を、地域間の連携により充実、発展させていく重要な役割を担っています。この度の会報創刊によって、その活動がより多くの人に伝わり、「コミュニティ活動のさらなる充実につながるものと大いに期待しております。」

今年、新型コロナウイルスの影響により、地域での活動にもかなりの御苦労があることを存じますが、「コミュニティや自治会に携わる皆様、そして地域で生活する市民の皆様には、健康に留意しながら、地域のための様々な活動に引き続きの御理解と御協力をお願いいたします。」

「コミュニティ協議会連合会・連合自治会」の今後ますますの御発展をお祈りして、創刊に寄せる言葉といたします。

この会報は赤い羽根共同募金の助成により作成しています。



## 「学校支援ボランティアー未来へ向けたまちづくりー」

明倫の里 城北

丸亀市コミュニティ協議会連合会では、自主的な地域づくり活動に取り組む「コミュニティ」に対する表彰を行っています。

本年度は明倫の里 城北(城北)コミュニティの取り組みが最優秀のまちづくり大賞に輝き、「コミュニティ」自治会長研修において事例発表が行われました。

大賞を受賞した取り組み「学校支援ボランティアー未来へ向けたまちづくりー」を紹介いたします。

は、給食の介助、校内外のパトロール、清掃の補助、授業の補助(家庭科、書写、図工など)、読み聞かせ、茶道の指導などで、40名の登録ボランティアが支援に当たりました。

令和元年度は、対面式を実施したことやボランティア詰所を体育館棟から教室棟へ移動したことにより、児童とボランティアの距離はぐんと近くなりました。また、昼休みを利用した昔遊びや話し相手支援、大正琴や尺八の演奏会などの新しい支援にも取り組みました。



読み聞かせボランティア

携わったボランティアの延べ人数は1年目は511人、2年目は757人と増えており、学校からも支援の効果を認めていただいています。また、参加するボランティアからも子どもたちから元気をもたらすとの声が寄せられています。

未来を担う子どもたちのために、これからも前向きに支援に取り組みたいと考えています。

城北コミュニティでは、地域と学校が力を合わせて子どもたちを育てる取り組みを行っています。

城北小学校区地域学校協働本部の立ち上げ、事業計画の策定、ボランティア募集などの準備を経て、平成30年6月に支援を開始しました。



コミュニティ・自治会長研修での事例発表

令和2年度は、校外学習支援の充実、昔遊びの充実、ボランティアの増員などに、支援活動をさらに発展させたいと考



清掃支援ボランティア

## 編集後記

丸亀市コミュニティ協議会連合会・丸亀市連合自治会の創刊号をお届けすることができました。

コロナ禍で地域活動にも大きな影響が出ていますが、地域のために頑張る皆さんのことを精一杯お伝えしていきますので、よろしくお願ひします。

**プロジェクト会議**

現在の第4期プロジェクトでは次の3つのテーマについて調査、研究を行います。

- ①これからの地域づくりのために
- ②地域における高齢者支援のために
- ③よりよい自治会のために

**合同防災訓練**

令和3年3月11日開催予定  
(自主防災会等連絡協議会との共催)

## これからの活動予定



# 「コミュニティ協議会連合会・連合自治会」のあじまじ

## 活動報告

### 「コミュニティ協議会連合会」

「コミュニティ」とは、自治会や婦人会、老人会などの各種団体、事業所など地域に暮らすすべての人々が参画する組織です。小学校区を概ねの単位として本市では17の地区「コミュニティ」が組織されています。

市内すべての「コミュニティ」が連携して地域づくりに取り組みため、平成27年5月に「コミュニティ協議会連合会」を結成しました。

連合会では、地域づくりの重要な課題を協議するプロジェクト会議のほか、優れた地域の取り組みに対するまちづくり大賞表彰や自主防災会等連絡協議会との合同防災訓練などの事業を実施しています。

### 連合自治会

自治会は、地域に住む人々が相互に協力して自主的に活動する組織であり、地域の清掃やごみステーションの管理などを行って

います。本市には約860の自治会があります。

「コミュニティ」と同様、小学校区を単位として地区連合自治会があり、さらに各地区連合自治会の連携のために市連合自治会が組織されています。

### 「コミュニティと自治会」の関係

「コミュニティ」は各地区の「コミュニティセンター」を拠点として、防災・防犯・環境美化活動や地域のおふれあいまつり、健康相談など様々な活動を行っています。その活動において自治会の果たす役割は非常に大きく、「コミュニティ」自治会は連携して住みよいまちづくりに取り組んでいます。

### プロジェクト会議

「コミュニティ協議会連合会」及び連合自治会では、自ら地域課題の解決に取り組むため、各地区の会長等が共通のテーマを持って調査・研究・話し合いを行う「プロジェクト会議」を設けています。

昨年度は「コミュニティの組織力強化、青少年の健全育成」自治会加入促進の3つのテーマについて協議した内容を「提言書」として取りまとめ、市及び市議会に提出しました。



市長に提言書を手渡す岩崎会長

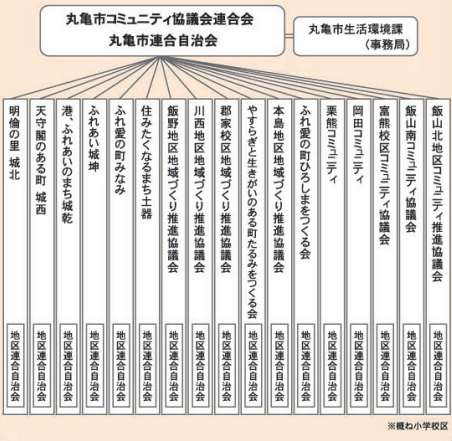
## 令和2年度 役員紹介

任期：令和3年度総会まで

- |     |             |                      |             |
|-----|-------------|----------------------|-------------|
| 会長  | 岩崎 正明(川西地区) | 「コミュニティ」協議会<br>連合会監事 | 大谷 透(川西地区)  |
| 副会長 | 進 和彦(飯山南地区) | 新居 文夫(飯山南地区)         |             |
|     | 玉井 弘一(城坤地区) | 連合自治会監事              | 玉井 豊夫(川西地区) |
|     | 奥田 徹(垂水地区)  |                      | 池内 右典(城坤地区) |
|     | 宮脇 隆(城西地区)  |                      |             |

### 「コミュニティ」連合自治会」の組織図

(令和2年9月現在)



# コミュニティ・自治会長研修



コミュニティ・自治会功労者への表彰

自治会長や地区「コミュニティ」役員を対象とした研修会を8月23日、生涯学習センターで開催しました。約130人が出席し、事例発表や講演を通じて地域活動の重要性の理解を深めました。

研修に先立ち、「コミュニティ」のまちづくり活動に対する表彰が行われ、今年度は明倫の里 城北がまちづくり大賞を受賞しました。また、まちづくり優秀賞は川西地区地域づくり推進協議会、まちづくり取組賞は富熊地区「コミュニティ」協議会が選ばれました。



熱心に話を聞く出席者

また、「コミュニティ」活動の功労者9名、自治会活動に功労のあった4団体と個人16名に対し、市長から表彰が行われました。

研修では事例発表として、川西地区地域づくり推進協議会による「コミュニティ」による青少年健全育成の取り組みと明倫の里 城北による学校支援ボランティアの取り組みが発表されました。

続いて、山梨学院大学法学部の日高昭夫特任教授による「With a リスク」時代の自治会と行政の役割と題した講演が行われ、出席者は丸亀市の自治会の特徴や少子高齢化が進む中で自治会のあり方などの話に聞き入っていました。

## 講演会

### 「With a リスク」時代の自治会と行政の役割

山梨学院大学法学部特任教授 日高 昭夫 氏

近隣関係を基礎とした任意の住民自治組織である自治会は、その時代その社会その地域の「リスク」に対処する先達の知恵から生まれた。自治会には、大きく分けると「親睦の提供」「環境維持」「公共的サービスの確保」「行政のパイプ役」の4つの役割がある。

丸亀市の自治会は、全体の9割が50世帯未満の小規模な自治会であり、全体の6割近くが1班だけで構成される「向こう三軒両隣型」自治会である。日常のあいさつなどで近隣関係が維持できるため、特別な親睦イベントを必要とせず、ごみ処理や清掃などの日常生活に密着した「環境維持」活動に特化される傾向がある。

「向こう三軒両隣型」自治会には、自治会内の結束力が強い、問題が生じたときに臨機応変に対応できるという強みがある一方、外部から人が入りにくい、活動資源の制約が大きいなどの弱みがある。

高齢化が進むこれから、地域社会にも様々な課題が生じてくる。小規模な自治会を特徴とする丸亀市では、その強みを活かした課題解決にあたるこ

とができるが、自治会活動の担い手不足や高齢化という弱みの解消も考えていかなければならない。そのためには、自治会の自己改革、自治会間の連携や協力、ボランティアやNPOなどの連携協力、地域「コミュニティ」組織の再構築など、自治会が加入しやすい持続した活動ができる組織となるよう取り組みも必要となる。

また、行政の役割の見直しも求められる。丸亀市の「コミュニティ」施策は、自治会加入促進や地域担当職員制度の導入など全国的にも進んでいるが、これからの市職員は、一人ひとりが地域のコーディネーターとして、地域との協働によるまちづくりに取り組む姿勢が求められる。



講演する日高氏